

令和元(2019)年度

事業報告書

平成31(2019)年4月1日から

令和2(2020)年3月31日まで

一般財団法人大阪府青少年活動財団

大阪市浪速区幸町二丁目7番3号

りそな・アルテ桜川ビル 4 階

令和元(2019)年度 事業報告書

第二期中期計画の4年目となる令和元(2019)年度は、引き続き「はぐくんでみらいへ」をスローガンに、次代を担うこころ豊かな青少年をはぐくむため、各部所において以下のさまざまな取り組みを進めました。

個々の事業の実施にあたっては「一人ひとりの青少年が尊重されること」を基本とし、青少年の主体的な参画と成長を願って取り組みを進め、非営利型の一般財団法人として公益的な使命を果たすべく事業を展開しました。

昨年度は、上半期は台風などによりいくつかの事業を催行中止にしつつも、計画に近い収益を確保しておりましたが、下半期に入って想定以上の雪不足、また3月には新型コロナウイルス感染症の拡大により施設の臨時閉所や事業の催行中止などにより、計画を大きく下回る結果となりました。

I 公益目的事業

現代の青少年が抱える課題解決に向けた自立支援事業など社会のニーズに応える公益性の高いユニバーサル事業を、全4事業・延べ112名を対象に実施しました。また事業において子どもたちに寄り添って安全にプログラムを進める青少年活動リーダーの育成については、年間13回の実地研修および理論研修への参加を基礎に、さらなる質の向上を目指し、取り組みを進めました。

公益目的財産額	2019年度執行額	公益目的財産残額
254,455,826円	8,403,735円	175,836,383円

No.	事業名	予定期間	共催団体	備考
1	青少年活動 リーダー育成事業	年間		採用者数 40名 (在籍総数 70名) 経験別研修及び理論研修等： 年間13回 (3月経験別研修は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
2	公開講座	12月 2月	大阪府キャンプ協会 他	リスクマネジメントセミナー (参加者数99名) 関西野外活動ミーティング(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
3	「シーカヤック チャレンジ」	9月	大阪府立 青少年海洋センター	障がい者カヌー事業
4	「のびのびキャンプ」	プレ 9月 10月	公益財団法人関西テレビ 青少年育成事業団 特定非営利法人 アサヒキャンプ	自閉症の子どもたちのキャンプ (10月は台風により中止)
5	「ゆうゆうキャンプ」	8月 11月 2月	公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団	家庭児童相談室に来所する 児童生徒の体験活動

(P10 参照)

Ⅱ NOS/HRTプロジェクト事業

参加者一人ひとりが豊かな人間関係を築く機会を提供し、「他者とのコミュニケーションの未熟さ」や「自然体験の不足」など現代の青少年が抱えている課題の解決に向けた取り組みを進めました。

	参加者数／延べ人数	事業収益額
計画	21,000人	90,000,000円
実績	23,815人	83,621,654円
うち講師派遣事業	3,674人	5,540,650円

1. NOS/HRT（ヒューマン・リレーション・トレーニング）プロジェクト推進事業

- (1) 学校・青少年団体等への体験活動の機会提供、および集団づくり・人間関係づくりプログラムの提供を行いました。
- (2) 企業等への組織づくり・コミュニケーション能力向上への支援を行いました。
- (3) 学校クラブ・スポーツクラブ等へのリーダー育成プログラムを提供しました。
- (4) 教育現場との連携事業を実施し、特に小中一貫教育を推進する各市教育委員会からの受託事業に取り組みました。

※寝屋川市10校、たつの市5校、福知山市1校、東大阪市1校、岸和田市1校 計2,199人

うち教育委員会から委託依頼のあったものは寝屋川、たつの、福知山 計3市16校 1,937人

なおコロナウイルス感染症等の影響により、寝屋川市6校を中止しました。

2. 野外活動指導者の養成

- (1) 日本キャンプ協会と連携し、資格認定講習会を実施しました。(2事業17人)
- (2) 大学・専門学校等からのキャンプインストラクター資格取得講習を併用したNOS事業受託を実施しました。(9校268人)

Ⅲ 自然体験事業

1. 募集型企画事業の実施

	年間事業数	参加者数／(延べ人数)	事業収益
計画	62事業	2,622人／5,875人	49,451,000円
実績	50事業	1,844人／3,940人	35,555,947円

台風、雪不足、コロナウイルス感染症拡大防止等のため、12事業を中止し、1事業を短縮して実施しました。

(P11～12 参照)

- (1) 心身が開放される自然環境の中で、実体験の場を提供しました。
- (2) 四季折々の自然に触れ合うことのできるフィールドでさまざまな事業を実施しました。
- (3) 様々な年齢層に自然への感動と自己確立を図る活動機会を提供しました。
 - ① 幼児には、穏やかな環境のもとでの集団活動体験を。
 - ② 小学校低学年には、自然との出会いとグループ活動を。
 - ③ 小学校高学年には、様々な自然環境のもと、自尊感情を育む体験活動を。
 - ④ 中学生～高校生には、自己への気づき・他者への関わりを育む体験活動を。
 - ⑤ ファミリーには、家族内や家族間の交流促進活動を。
- (4) 体験活動を通し、スキルアップやチャレンジ精神を養う機会を提供しました。

2. 機関連携事業 (P12 参照)

- (1) 堺市青少年自然体験学習推進事業(共催事業:公益財団法人堺市教育スポーツ振興事業団)
1事業 収益額:2,133,591円
- (2) 被災者支援交流プロジェクト in さかい(受託事業:堺市教育委員会)
1事業 収益額:257,688円
- (3) 摂津市チャレンジクラブ(夏期キャンプ・冬期キャンプ)(受託事業:摂津市教育委員会)
1事業 収益額:795,390円
- ※夏期は台風10号の影響により1泊に短縮、冬期はコロナウィルス感染症拡大防止のため中止
- (4) 大阪府立少年自然の家施設主催事業への青少年活動リーダー派遣
通年6事業 収益額108,000円
- (5) たじり防災キャンプ(受託事業:たじり子ども防災キャンプ実行委員会)
1事業 70,000円
- (6) 泉大津市チャレンジ事業(受託事業:泉大津市教育委員会)
コロナウィルス感染症拡大防止のため中止
- (7) 講師派遣事業(高槻市教育委員会、大阪経済大学、浅香山看護専門学校他)
・関係機関や市町村教育委員会等からの依頼に基づき、研修講師他として12事業に財団職員を派遣し、市町村のキャンプリーダー養成などを支援しました。
計16事業 収益額1,527,496円
- (8) 府施策(青少年育成大阪府民会議、「こころの再生」府民運動)への参画および協力

IV 施設運営

1. 自主施設の運営

(1) 吉野宮滝野外学校

長期使用貸借契約10年間の10年目

	年間運営経費	事業収入額	年間利用人数(延べ)
計画	37,540,000円	24,500,000円	17,500人
実績	37,251,662円	23,441,597円	17,292人

① 運営概況

- ・近隣地域等への利用促進を行い、スポーツ系のクラブ合宿、専門学校や大学等のキャンプ実習の利用を安定的に獲得することができました。また、コスプレ団体等の新規団体の受入れも行いました。
- ・新規プログラム、フィールドの開発として、冬期に職員研修を兼ねて下見を行いました。
- ・町施策との連携、協調に取り組み、町から感謝状を授与されました。
- ・中荘祭りへの出展、よしの七夕フェスティバルの共催等、地域連携の促進を積極的に行いました。
- ・自然体験活動事業については、18事業を実施しました。台風の影響や事業の見直しで、1事業を短縮実施、4事業を中止しました。(P11 参照)

② 広報の充実

- ・ホームページ、フェイスブックによる情報発信を、年間を通じて行いました。
- ・「吉野町広報」や地元ケーブルテレビとも連携し、記事の寄稿等を行いました。

③ 施設の改善・環境整備

- ・経年劣化への早期対応については、町と相談しながら取り組みました。
- ・中庭(炊さん場、樹木等)、厨房(動線の改善等)、居住(宿泊室、研修室等)各エリアの環境整備を行いました。
- ・害虫や害獣への予防と対策を年2回、継続的に実施しました。
- ・PAエレメントのリニューアルについて、PAからの指示をもとに作業を行いました。
- ・HACCPに沿った衛生管理を導入、マニュアル策定と記録シートの運用を行いました。
- ・大規模団体の受け入れに備え、旅館業営業許可証の記載内容変更を行いました。

2. 指定管理・共同指定管理施設の運営

(1) 箕面市立青少年教学の森野外活動センター

第2期指定管理10年間のうち9年目

	箕面市受託料	事業収益	年間利用人数（延べ）
計画	39,013,000円	12,462,000円	21,500人
実績	39,374,914円	8,760,043円	17,815人

① 運営概況

- ・年間利用者数および事業収益ともに、学校行事での利用が減少傾向にあるうえ、3月期は新型コロナウイルス感染拡大によるキャンセルと事業の中止が大きく影響したため、目標を大きく下回りました。
- ・一方、ゴールデンウィーク10連休やキャンプブームの影響からか、ファミリー等少人数のグループ利用が増加し、団体数は急増しました（例年ほぼ480団体。2019年度は520団体）。

② 施設環境改善への取り組み

- ・各自炊場の照明をLED化、第3キャンプ場野外トイレを洋式化、場内案内看板の設置、キャンプファイヤー場木製ベンチの補修、危険木の撤去などを行いました。
- ・市予算にて、場内未舗道路の一部舗装、テント台等の補修を行いました。

③ 継続的な利用促進

- ・市民が気軽に参加できる日帰り事業を2件、新たに実施しました。
（「夜景ハイクと中秋の名月観望会」、「森の素材でリースをつくろう」）
- ・野外料理を目的とする利用の増加傾向を鑑み、ダッジオーブンの有料貸出を始めました。

④ キャンプカウンセラーの育成

- ・年間育成計画に基づき、活動に必要な理論及び技術研修を7回実施しました。
（資料編 P13 参照）
- ・ジュニアランクが学業他の諸事情により、年度末時点で全員退会となりました。
（シニア10名卒業後、フレッシュとミドルで計25名）

⑤ 地域連携の取り組み

- ・箕面市こども会育成協議会の解散に伴い、箕面市教育委員会青少年育成室との共催事業として「箕面市こども会リーダーキャンプ」を実施しました。
- ・箕面昆虫館の観察会を誘致しました。（年5回開催）

⑥ その他

- ・次期指定管理者受託に向けた提案内容の検討を始めました。

⑦ 施設主催事業一覧（P13 参照）

(2) 東大阪市立野外活動センター「自由の森なるかわ」

第4期指定管理5年間のうち3年目

	東大阪市受託料	事業収益	年間利用人数（延べ）
計画	43,173,000円	11,183,000円	11,000人
実績	43,572,750円	6,518,662円	9,646人

① 運営概況

- ・2017年10月に来襲した台風による大きな被害の影響からようやく立ち直り、利用人数も順調に回復していた矢先に新型コロナウイルス感染症の影響で利用実績に歯止めがかかり、目標数値に達することができませんでした。

② 施設環境改善への取り組み

- ・利用者の多様な要望に応えるため、テントサイトのうち隣接したテント11、12番のパネルを、フラットな連続した平面に改修しました。これによりグランピングテントや大

型のタープなどの設営も可能になりました。

- ・管理棟前デッキおよび子ども向けボルダリングなどの新規遊具を、リーダーとともに製作しました。
- ・5月にディスクゴルフ場のコースの増設が完了し、また7月には新アーチェリー場の供用を開始し、より充実したプログラムを提供することができました。
- ・管理棟のトイレをシャワー式トイレに改修しました。
- ・ナラ枯れ木などの危険木の伐採、草刈り等の定期的な環境整備、宿舍清掃および修繕、駐車場、階段、炊さん場のかまど補修等の日常的な整備を継続的に行いました。

③ 継続的な利用促進

- ・広報を兼ねて「東大阪市民ふれあい祭り」などの東大阪市内のイベントへの出展のほか、市民講座講師などの出張型事業にも取り組みました。
- ・年少者向けの事業「もりあそびクラブ」を枚岡公園で実施し、センター主催事業への動機づけを行いました。

④ 施設の特徴を活かした新規事業の開発

- ・なるかわの森に親しむための林業体験事業「木こりキャンプ」を企画しましたが、最少催行人数を集めることができず、実施には至りませんでした。

⑤ 青少年活動リーダー（なるかわリーダー）の育成

- ・新人リーダー19名を含む47名で運営、人数よりもその質に重きを置き、少数精鋭化を図りました。
- ・施設への愛着を持たせるため「クラブ」を編成し、リーダーの主体的な活動として「事務所前デッキ製作部」「畑部」「遊具部」などの部活動に取り組み、一定の成果を得ることができました。

⑥ 施設主催事業等一覧（P14 参照）

（３） 大阪府立少年自然の家

第3期共同指定管理10年間のうち4年目

	計画	実績
年間利用人数計画	105,400人	87,621人

① 運営概況

- ・第3期指定管理の受託に際し提案を行った、バーベキュー専用施設「バーベキューガーデン奥貝塚」が竣工し、2018年度3月中旬から供用を開始しました。2019年度は家族向けにバーベキューイベントを開催し、従来までの学校など大規模団体に加えて、家族や小グループといった新たな利用者層獲得への取り組みを進めました。
- ・ドローン講習会場としてのニーズが高く、従来から取り組んできた「コスプレの森」事業とともに、小規模ながら安定的な利用実績を積み重ねました。
- ・第4四半期には新型コロナウイルス感染症の拡大により、予定されていた中国の学校団体などのインバウンド利用が軒並みキャンセルとなり、結果として目標とした利用人数を果たすことはできませんでした。

② 施設環境改善への取り組み

- ・体育館のバスケットゴールを新規に購入し、スポーツ団体の利用者に好評でした。
- ・大研修室空調設備の取替え、宿泊室の毛布を購入するなど、快適な利用環境の整備に努めました。
- ・浴場タイル修繕および浴室濾過機濾材交換の実施など、よりいっそう安心して施設をご利用いただけるよう、改修を行いました。

③ 継続的な利用促進

- ・出前講座を 10 件実施し、近隣地域、団体への利用促進と地域連携に取り組みました。
- ・旅行社にパックプランを提案するなど訪日学校団体への利用促進を進めました。
- ・ホームページ、フェイスブック他の SNS による情報発信を日常的に行いました。
- ・大阪府市通便を活用した事業チラシの配布や、貝塚市広報との連携を強化し、施設と事業の周知を図りました。

④ 施設主催事業の充実

- ・府の施策との連携、協調をすすめ、様々な事業を行いました。
(乗馬体験と臨床動作法、絵本イベント他)

<共同指定管理者>

公益財団法人大阪ユースホステル協会

(4) 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

第 3 期共同指定管理 5 年間のうち 4 年目

自習室開放などの青少年の居場所づくり機能の充実を図るとともに、リーダー研修、公開講座等の拠点として活用しました。今後さらに「青少年センター」としての機能を多面的に発揮させてまいります。

○青少年センター機能の充実

- ・財団の青少年活動リーダー育成事業の研修拠点のひとつとしての活用
- ・青少年活動情報コーナーへの事業広報チラシ配架の促進
- ・青少年関係団体の利用登録団体増加の推進と研修会場としての利用促進
- ・青少年健全育成を主な目的とした野外活動団体とのイベントや研修会の共催
「リスクマネジメントセミナー」（12 月）
「関西野外活動ミーティング」（2 月）：新型コロナウイルス拡大防止のため中止
- ・青少年関係事業の提案・・・「ひきこもり女性への支援事業」（2020 年度実施予定）

<共同指定管理者>

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
株式会社菱サ・ビルウェア関西支店
特定非営利活動法人大阪現代舞台芸術協会

V 法人運営

1. 理事会

- | | | |
|-----|--------------|--|
| (1) | 第 1 回理事会（臨時） | 令和元(2019)年 5 月 22 日（水）午後 6 時
大阪府立男女共同参画・青少年センター
・理事長の任免の件 他 |
| (2) | 第 2 回理事会（定時） | 令和元(2019)年 6 月 7 日（金）午後 2 時 30 分～
大阪府立男女共同参画・青少年センター
・平成 30(2018)年度事業報告および収支決算の件 他 |
| (3) | 第 3 回理事会（臨時） | 令和元(2019)年 6 月 26 日（水）午後 4 時～
大阪府立男女共同参画・青少年センター
・代表理事の選任の件 |

- (4) 上半期事業報告会 令和元(2019)年 11 月 19 日 (火) 午後 7 時～
大阪府立男女共同参画・青少年センター
・上半期事業報告
- (5) 第 4 回理事会 (定時) 令和 2(2020)年 3 月 4 日 (水) 午後 2 時 30 分～
大阪府立男女共同参画・青少年センター
・令和 2(2020)年度事業計画及び収支予算の件 他

2. 評議員会

- (1) 第 1 回評議員会 (臨時) 令和元(2019)年 5 月 22 日 (水) 午後 7 時
大阪府立男女共同参画・青少年センター
・理事の任免の件
- (2) 第 2 回評議員会 (定時) 令和元(2019)年 6 月 26 日 (水) 午後 2 時～
大阪府立男女共同参画・青少年センター
・平成 30(2018)年度事業報告および収支決算の件 他
- (3) 第 3 回評議員会 (定時) 令和 2(2020)年 3 月 18 日 (水) 午後 2 時 30 分～
大阪府立男女共同参画・青少年センター
・令和 2(2020)年度事業計画及び収支予算の件 他

3. 第二期中期計画の推進等

- (1) コンプライアンスを徹底し、リスクマネジメント力の強化に努めるため、7 月の職員全体研修において「役職員行動指針」を定めました。
- (2) 個人情報及び特定個人情報の適切な取扱いとその保護の周知徹底を図りました。また事務局のインターネットセキュリティを引き上げ、情報漏洩の防止に努めました。
- (3) 業務の効率化を目的とした経営の健全化を図るため、不要不急な超過勤務の抑制を図り、生産性の向上に努めました。
- (4) 以下のとおり人員採用を行いました。また研修計画に基づいた育成を実施しました。
 - ・ 2019 年度正規職員採用者数 2 名 (契約職員からの転換)
 - ・ 契約職員採用 2 名 (うち 1 名は非常勤職員からの転換)
- (5) 法令や社会背景を取り入れたより働きやすい職場環境の構築を目指し、年次有給休暇の 5 日以上取得を全職員において達成しました。また給与改定(2019 年 7 月)を実施し、ならびに福利厚生充実をはかるため、職員共助会規約を見直しました。
- (6) 中期計画の重点項目の継続検討、実施 (運営推進会議での検討を継続)
 - ① 将来経営に向けた新規事業、プログラムの積極提案の場を設け、24 本の事業またはプログラム案の提案がありました。
 - ② 以下の研修計画の策定・実行に取り組みました。
 - ・ 青少年育成団体としての専門性の向上
 - ・ 職員個々の計画的育成に向けた項目の抽出と研修の実施
 - ・ 青少年活動リーダー育成のカリキュラムの検討
 - ③ 広報、営業方策の継続検討の一環として各所にてインスタグラムアカウントの開設および運用を始めました。
- (7) 次期指定管理、新規指定管理施設の受託の準備・検討、および自主運営施設貸借契約締結
 - ・ 吉野宮滝野外学校の次期使用貸借契約を締結することができました。
 - ・ 現指定管理受託施設のうち、2020 年度に公募対象となる 2 施設 (箕面・ドーンセンター) の次期指定管理受託の提案準備作業に着手しました。